

地元の高校生がデザインした「火の用心」看板を設置

松本広域消防局

松本広域消防局本郷消防署山辺出張所では、地元の高校生がデザインした大型看板を庁舎敷地内に設置しました。この看板は、エクセラン高校美術科に属する2年生4人に制作を依頼したもので、消防隊員が放水する様子が描かれ、英語表記により外国の方にも認識してもらうための工夫が施され、地元の特産であるブドウのオリジナルキャラクターを配置した色鮮やかなデザインとなっています。当消防局では、幅広い世代に見てもらうことで、火災予防の浸透を図る取組を進めていきます。



実務伝承プログラム(調査実務:電気火災編)を警察署員と合同で実施

小山市消防本部

小山市消防本部では、令和5年9月25日(月)・26(火)の2日間、実務伝承プログラム(調査実務:電気火災編)を実施しました。

今回は現場活動での連携強化・知識の共有化を目的に、初めて栃木県警察小山警察署と合同で研修を行いました。研修では電気火災のメカニズムの解説や鑑識要領の実習、管内で発生した火災の再現実験を行いました。

今後も若手職員の育成、警察機関との連携強化に努めてまいります。



消防通信

望楼

ぼうろう

消防団車両広告掲載開始に伴う出発式を挙行

和歌山市消防局

和歌山市消防団では、令和5年10月1日から消防団車両に企業広告の掲載を開始しました。

掲載開始に先駆けて広告を募集させていただいたところ、花王株式会社様より申請をいただき、同日、出発式を挙行了しました。

広告掲載は、民間企業と自治体と消防団が連携して地域の安心・安全を支援することを目的とし、企業は社会貢献と広告効果を得ることができ、自治体は消防活動の充実を図り地域防災力の向上に繋げる取り組みとなります。



社会福祉施設防火安全講習会を実施

埼玉県南西部消防局

埼玉県南西部消防局では、10月11日(水)、管内の社会福祉施設を対象に防火安全対策の徹底を図ることを目的とした講習会を実施しました。

講習会の前半では、火災図上訓練、自動火災報知設備模型盤を使用した操作説明を座学形式で行い、後半では、スプリンクラー設備の散水見学、水消火器訓練、煙体験を実技形式で行いました。

参加者からは、「次回も参加したい。」との意見が多数寄せられました。

今後も地域から信頼される予防行政を目指します。



消防通信/望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【25文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】